

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日工電子工業 本社新築工事	階数	地上2F
建設地	京都府長岡京市	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,900 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年8月12日
敷地面積	5,119 m ²	作成者	竹元 寿久
建築面積	1,339 m ²	確認日	202●年●月●日
延床面積	2,170 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値: 160%
 ②建築物の取組み: 79%
 ③上記+②以外の: 79%
 ④上記+: 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
<p>Q1 室内環境 外皮に断熱性能の高い材料を使用し、内側にもガラスウールを充填します。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) 緑化・ソーラーパネル設置等</p>
<p>LR1 エネルギー 照明器具をすべてLED化</p>	<p>LR3 敷地外環境</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される